

R 8 年度小樽市立潮見台中学校 グランドデザイン

目指す学校像 子どもたちに『未来を生き抜く力』を育む教育の推進

「かかわり」「つながり」共に未来を切り拓く子ども (めざす子ども像:小中共通)

- ・目標をもち、計画的に取り組む子ども
- ・人とのつながりを大切にする子ども
- ・自分をみつめ、素直に表現する子ども

学校教育目標

自律・挑戦・認め合い

自律 自分で考え、表現し、行動する人
 挑戦 自己の向上に向けて粘り強く挑戦する人
 認め合い 自分と異なる立場の考えを受け入れる人

年度の重点目標

自律的に生き、学ぶ生徒

基本方針

生徒が「何が身についたか」「何ができるようになったか」を自覚できるよう、教科等横断的で地域の資源・人材を有効に活用した体験的かつ問題解決的な学びを重視する。

何を学ぶか

○新しい時代に必要な資質・能力～総合的な学習の時間を中核とした、自分の個性を生かし、他者と協働して課題を解決する学び
 ★小学校との連携により、9年間で身につける力を共有

何を身につけるか

○学びに向かう力
 ○未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力
 ○生きて働く知識・技能

今日的な課題への対応

○教職員の働き方改革を通して、持続可能な学校運営を実現
 ○特別支援教育に関する校内研修の充実
 ○AI 社会に立ち向かう倫理的判断力の育成

何ができるようになるか

○自己をコントロールする
 ○最後までやり遂げる
 ○異なる立場の人を受け入れる
 ○自分の考えをまとめ、表現する(対応力、対話力、協働性など)

【知】 夢を実現する確かな学力の育成

- ・自己決定の場面を重視した授業の実施
- ・話し合い活動や思考を重視した授業づくり
- ・放課後や長期休業中の学習会
- ・「潮中シート」の活用
- ★「各教科等で学んだことを生かし、自分の考えをまとめる活動を行っていたか」74%以上

【徳】 自己理解の推進と地域の中で他者を認め合う精神の育成

- ・朝の読書活動、NIEタイムの実施
- ・自己実現を促す生徒指導
- ・人間関係能力の育成、地域に根付いたキャリア教育の推進
- ★「地域や社会をよくするために何かしたい」74%以上

【体】 健康的な生活習慣の育成

- ・生涯にわたって運動に親しむ習慣づくり
- ・命を守る判断力・行動力の育成
- ・成長期の健康保持増進
- ★スマートフォンの扱い時間(平日)2時間以上を15%未満

幼保小中高の連携

- 幼保小の連携→スタートアップカリキュラムの活用
- 小中高連携の取組→乗り入れ授業(含生徒指導)、教師間の情報共有(児童生徒情報)公開研の相互参加
- 9(12)年間を貫く総合的な学習の時間における地域学習、合同研修会
- 小学生による中学校部活動見学、学校説明会・体験入学、インターンシップ

保護者との連携

- 基本的な生活習慣の確立とスマホのルール作り
- 家族で挨拶、思いやりについての対話
- 困難や失敗から学ぶ環境づくり
- PTA 活動との連携

地域との連携

- 学校の教育活動への協力や登下校時の見守り活動
- 【学校運営協議会との連携】
- 潮ねりこみへの合同参加
- 町内会行事への参加